

(第2回最終変更) 契約変更の内容

契約変更年月日	平成 30年 8月 9日
契約業者名	(一財) 阪神高速道路技術センター
契約業者の住所	大阪府大阪市中央区南本町4-5-7
業務の名称	阪神高速道路構造物の維持管理および耐震性改善に関する調査研究業務
業務場所	阪神高速道路(株)の指定する場所
業務種別	土木設計
業務概要	Uリブを有する鈹床版の補強対策効果の検討・・・・・・・・・・1式 鋼床版上舗装に関する検討・・・・・・・・・・・・・・・・・・1式 柱状付属構造物の耐震性向上対策の検討・・・・・・・・・・1式 委員会の運営・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1式
業務期間(自)	平成 29年 12月 29日
業務期間(至)	平成 30年 8月 31日
契約金額	57,780,000 円
変更金額	756,000 円 増
変更後の契約金額	58,536,000 円
変更理由	別紙のとおり

※金額は、税込みである。

変更契約理由書

阪神高速道路構造物の維持管理および耐震性改善に関する調査研究業務 第2回（最終）変更

- ・当初、鋼床版と横リブの接合箇所を1ケース及び鋼床版とUリブの接合箇所（一般部）を1ケースのモデルを作成し、き裂部にスタッドあて板補修した場合の床板全体への影響を検討することを想定していたが、解析の結果、一般部におけるき裂端部に応力が集中することが判明したため、優先的に一般部に着目して解析を実施する。また、一般部については、あて板補修しない場合のケースのモデルを追加作成し、輪荷重による影響分析を追加。
- ・当初、SFRC舗装の撤去に関する施工計画書とその確認試験計画を立案することを想定していたが、調査の結果、従来の工法およびグループ会社で検討している広報以上に適用可能な技術がないため、施工計画書とその確認試験計画の立案については本業務より削除する。
- ・当初、CFRC舗装の実用を目的に、SFRCとその比較検討を実施したうえで性能確認のための試験法を立案することを想定していたが、比較検討段階で、CFRC舗装の実現性に課題が見えたため、性能確認に必要な試験法の提案を実施しない。
- ・橋梁と橋梁上に設置される照明柱及びTV支柱の固有周期化（橋梁の固有周期/付属構造物の固有周期）に着目して、付属物の耐震対策判定の一般化を目的に、既設照明柱及びTV支柱を非線形部材としてモデル化した2自由度系の動的解析を追加。併せて、橋梁全体系の動的解析を行い、非線形応答スペクトル解析の妥当性の検証を追加。